

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<p>■学力検査: 3/3(木)</p> <p>■面接・特色検査: 2/2(火)、 2/3~(水)</p>	<p>2/19(火)、 2/22(金) ~23(土)</p>	<p>3/11(金)</p>	<p>「1~3年の5教科×2」+ 「1~3年の実技4教科×3」+ 「1~3年の特別活動30点」 (75×2+60×3+30=360満点)</p>

教育のプロ
トライさん



傾向

前期試験は自己推薦。内申書と面接に加え、各学校が必要と認める場合は作文・特技・個性表現のいずれかの検査を併せて実施し、総合判断する。

後期試験は内申点と学力検査の結果で可否の判定がされる。1人1校のみ出願可能だが、志願先の高校に2学科以上ある場合、同一高校内で第2希望まで学科の志望順位をつけることができる。学力検査は主要5教科で、各教科100点満点。内申点と学力検査は同等に扱われる。また、一部の学科やコースでは、傾斜配点が採用されている。

科目別対策

英 語

大問5問で構成。聞き取り問題が3問、長文読解問題が2問。聞き取り問題は、英文を聞いて日本語や数字を穴埋めする出題や、英文を聞いて英語の問いに対する答えを選択する出題などがあり、普段からCDで耳を慣らしておくこと。長文読解問題は、内容理解を問う出題の他に、英作文や記述式の出題もあるため、基本的な文法や語彙力を身につけておくこと。

数 学

大問7問で構成。計算問題、方程式や作図などの小問群、文章問題、図形と関数の融合問題、2次関数、証明問題、空間図形の計量問題などが出題。基礎・標準レベルの問題で構成されているが、教科書のほぼ全領域から出題があるので、分野によって苦手な所が無いように教科書の基本事項をしっかり身に付けておくこと。記述式の問題も多いので、解答を分かりやすく書く練習もしておくこと。

国 語

大問4問で構成。漢字の読み書き・文法などの知識問題、現代文及び古文・漢文の読解問題、200字以上の課題作文などが出題される。読解問題は、普段から様々な作品を読み、主人公の心情や主題の把握を中心に学習すること。古典は教科書中心の学習をすること。課題作文は、過去問を用いて書き慣れておくこと。自分の考えを簡潔にまとめられるように練習しておこう。

理 科

大問8問で構成。出題範囲は広く、偏りのない出題になる。実験・観察のデータを基に考察する問題が多く、実験計画や実験結果についての設問もあった。理由を書かせる記述式の問題は、使用する語句が指定されていたり、問題文の中にヒントがあったりする。実験・観察では、結果を図や表も用いながら分かりやすく記録できるようにしておく。

社 会

大問4問で構成。地理、歴史、公民、総合問題がそれぞれ1題ずつ出題。地理は、地図や統計が多く使われている。諸地域の特色を比較・対照して理解しておくこと。歴史は、写真や史料を用いて各時代の文化・社会、その時期の世界との関連を理解しておくこと。公民は、憲法や政治、経済、国際についての出題がある。教科書の基本事項を理解しておくこと。